

PARAMAX[®]

クーリングファン用減速機
パラマックス[®] SFCシリーズ

クーリングファン専用最適設計

1 最適な選定

- SFCシリーズはクーリングファン用のファン駆動専用減速機として開発されました。
- モータ容量に対応した最適な選定が可能です。

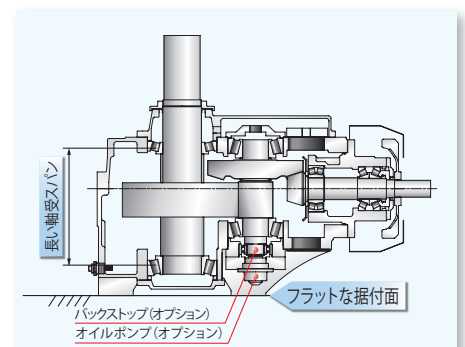
モータ／減速機組合せ表 入力 1800 r/minの場合

ファン回転 r/min	285	253	225	200	180	160	144	128	112	100
減速比	6.3	7.1	8	9	10	11.2	12.5	14	16	18
モータ(kW)	55									
	75									
	90									
	110									
	132									
	160									
	200									
	250									
280										
減速機 サイズ	SFC045	SFC050	SFC055	SFC060	SFC065	SFC070	SFC075			

※ 詳細は選定表(P5)を参照してください。

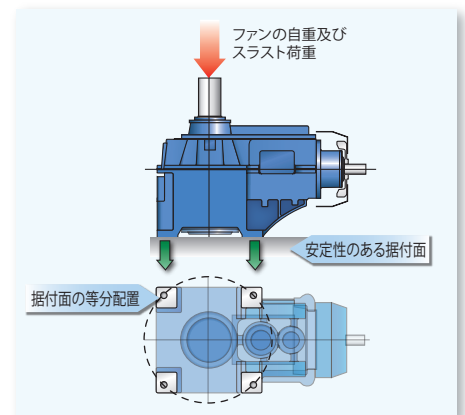
2 振動に強い構造

- 軸受スパンの延長
バランスがとられたファンであっても、運転中に振動が発生する場合があります。
ファン駆動軸（減速機低速軸）の軸受スパンを長くとり、振動に強い構造としています。
- 安定性のある据付面
据付面をファン駆動軸に対し等分に配置することにより、稼動時のファンからの荷重を均一に伝達させる構造としています。



3 扱い易いフラットな据付面

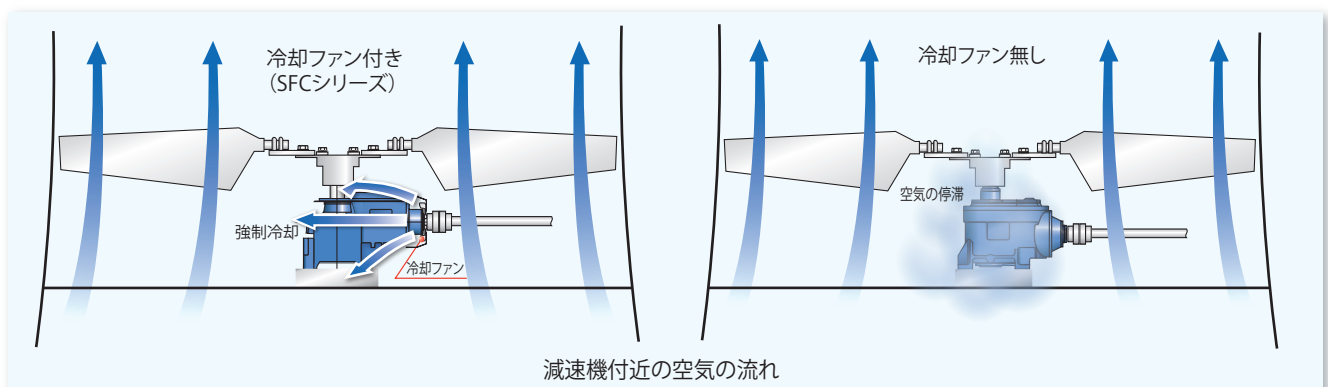
据付面から出っ張りがなく、運搬・据付けが容易な構造としています。
オプションのバックストップ、オイルポンプを取り付けた場合でも、出っ張りません。



4 高温環境に強い設計

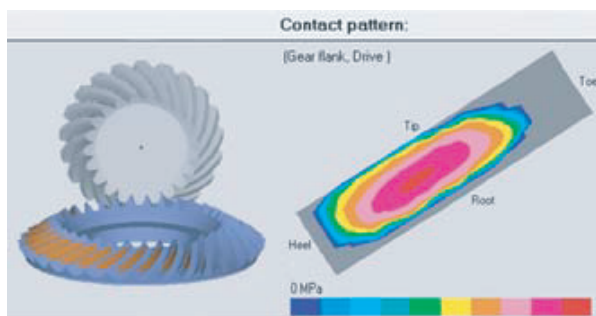
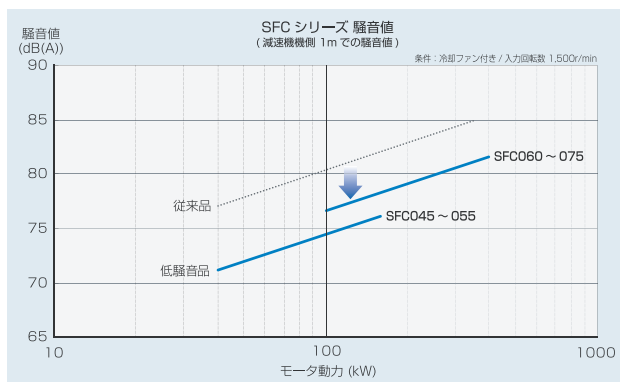
ファンの中心領域は、空気の流れが少なく、ファンの風による減速機の冷却は十分には期待できません。
この環境下で減速機の温度を最適に保つため、放熱性の高い下記の設計としています。

- 表面積の大きなハウジング
- 高性能減速機冷却ファン



低騒音

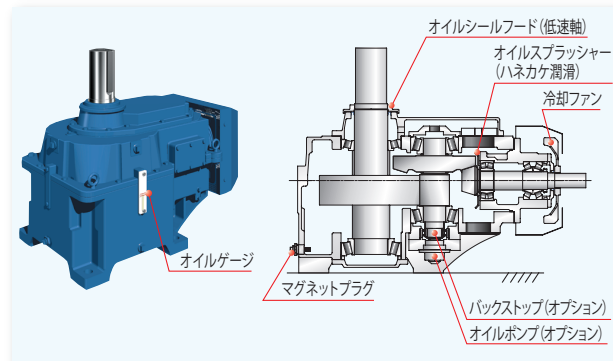
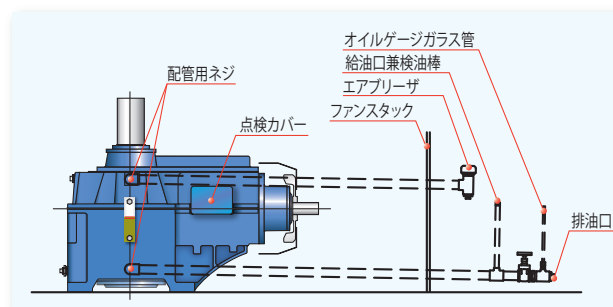
6～8dB (A) の騒音低減 (当社比) を実現しました。
減速機の入力段ベベルギヤに3次元歯面修整を施し、当社従来比6～8dB (A) の騒音値を低減しました。
騒音規制が厳しい環境下でもご使用いただけます。



シミュレーションにより、負荷時の歯当たりが最適となるように修整量を決定しています。

容易なメンテナンス

- 1年間連続運転に対応できます。
- 空気抜き、給油・排油をファンスタックの外側でおこなうために、減速機には接続配管用ネジが用意してあります。
- 点検カバーを油面より上に設けており、油を抜くことなく、据付状態での点検やサービスが可能です。
- オイルハネカケ潤滑を採用しているため、オイルポンプ潤滑のように、定期的なオイルポンプの交換を必要としません。



豊富なアクセサリ

クーリングタワーの用途に適したアクセサリを標準化しています。

標準装備

- 冷却ファン
- オイルシールフード(低速軸)
- オイルゲージ
- マグネットプラグ

オプション

- バックストップ^注
- オイルヒータ
- オイルポンプ
- フローズスイッチ
- オイルレベルスイッチ
- 防塵エアブリーザ
- 振動センサ取り付け座

注) ファン逆転防止のため、バックストップ (オプション) を用意しています。
バックストップは、減速機内部の潤滑油で潤滑されます。専用の潤滑油は必要ありません。

目次

● 特長.....	1	● 選定方法.....	6
● 形式記号.....	3	● 定格伝達容量表.....	7
● 塗装.....	3	● お客様よりご指示願う事項.....	8
● 標準仕様.....	4	● 低速軸許容スラスト荷重.....	9
● 推奨潤滑油.....	4	● 寸法表.....	10
● 選定表.....	5		

標準仕様

形式記号

SFC		065		R2	G	S	—	RR	F	—	14
シリーズ	サイズ	概略トルク (kNm)	歯車段数	補助1		軸配列	補助2		公称 減速比		
SFC	045	(10.0)	R2 直交2段形	G	S:ハネカケ (標準仕様) P:軸直結 ポンプ	RR	F: 冷却ファン付 (標準仕様)		6.3 7.1 8 9 10 11.2 12.5 14 16 18		
	050	(14.6)					FB: 冷却ファン付 バックストップ付				
	055	(18.0)					N: 冷却ファンなし				
	060	(21.7)					NB: 冷却ファンなし バックストップ付				
	065	(27.5)									
	070	(35.5)									
	075	(44.0)									

塗 装

評価基準:◎…優, ○…良

塗装区分	塗装の種類			塗装仕様		耐水性	耐酸性	耐アルカリ性	耐熱性	上塗の耐候性	
	分類	塗装系(上塗分類)	塗装	膜厚 μm	塗装のタイプ						
外面 塗装 ^注	標準品	防蝕性	アクリル変性 フタル酸系	下塗	20~40	変性アルキド樹脂	○	○	○	○	
				上塗	30~60	アクリルアルキド樹脂					
	重防食1 (オプション)	耐湿性	厚膜エポキシ系	下塗	40~80	特殊浸透性エポキシアルミ塗料	◎	◎	◎	○	○
				上塗	120~240	ポリアミド系エポキシ樹脂					
	重防食2 (オプション)	耐湿性 耐候性	ポリウレタン系	下塗	40~80	特殊浸透性エポキシアルミ塗料	◎	◎	◎	○	◎
				中塗	120~240	ポリアミド系エポキシ樹脂					
上塗				20~40	ポリイソシアネート系 ウレタン樹脂塗料						
内面 塗装	標準品	耐油性	—	—	20~40	変性アルキド樹脂	—	—	—	—	

注) 1次プライマーとして変性アルキド樹脂1回塗布

減速機の選定

選定表

(クイックセレクション) 表中の数字は減速機サイズを表します。例) 045

● 高速軸回転数 1750r/min

	ファン回転数 r/min	280	245	220	195	175	155	140	125	110	97
	減速比	6.3	7.1	8	9	10	11.2	12.5	14	16	18
モータ (kW)	55	※	※	※	※	※	045	045	※	※	※
	75	※	045	045	045	045	045	045	055	055	055
	90	※	045	045	045	045	050	050	055	055	055
	110	※	045	045	050	050	050	050	055	055	060
	132	※	※	050	050	050	055	055	060	065	065
	160	※	※	055	055	055	060	060	065	070	070
	200	※	※	※	060	060	065	065	070	075	075
	250	※	※	※	※	065	070	070	075	075	
	280	※	※	※	※	※	070	075	075		

● 高速軸回転数 1160r/min

	ファン回転数 r/min	185	165	145	130	115	105	93	83	73	64
	減速比	6.3	7.1	8	9	10	11.2	12.5	14	16	18
モータ (kW)	55	※	045	045	045	045	050	050	055	055	055
	75	※	045	045	050	050	050	050	055	055	060
	90	※	※	050	050	050	055	060	060	065	070
	110	※	※	055	055	055	060	065	065	070	070
	132	060	060	060	060	060	065	065	070	075	075
	160	060	060	060	065	065	065	070	070	075	
	200	065	065	065	065	070	075	075	075		
	250	065	070	070	075	075	075				
	280					075					

● 高速軸回転数 1450r/min

	ファン回転数 r/min	230	205	180	160	145	130	115	105	91	81
	減速比	6.3	7.1	8	9	10	11.2	12.5	14	16	18
モータ (kW)	55	※	※	※	045	045	045	045	※	※	※
	75	※	045	045	045	045	050	050	055	055	055
	90	※	045	045	045	050	050	050	055	055	060
	110	※	※	050	050	050	055	055	060	065	065
	132	※	※	055	055	055	060	060	065	070	070
	160	※	※	060	060	060	065	065	065	075	075
	200	※	※	060	065	065	065	070	070	075	075
	250	※	※	065	065	070	075	075	075		
	280	※	※	※	070	070	075	075			

● 高速軸回転数 970r/min

	ファン回転数 r/min	155	135	120	110	97	87	78	69	61	54
	減速比	6.3	7.1	8	9	10	11.2	12.5	14	16	18
モータ (kW)	55	※	045	045	045	045	050	050	055	055	055
	75	※	※	050	050	050	055	055	060	065	065
	90	※	※	055	055	055	060	060	065	070	070
	110	060	060	060	060	060	065	065	070	075	075
	132	060	060	060	065	065	065	070	075	075	
	160	065	065	065	065	070	070	075	075		
	200	065	065	070	075	075	075	075			
	250										
	280										

注) 1. ※の箇所については、お問い合わせください。

2. 詳細については、P6「選定方法」に従ってください。

選定方法

● 選定順序

項目	選定方法	参照頁
減速比の決定	減速比 = モータ回転数 ÷ ファン回転数	—
サービスファクタ (SF) の決定	SF = 2.0	—
サイズの決定	伝達容量 (モータ定格) ≤ 定格伝達容量 (サービスファクタ 2.0)	P7「定格伝達容量表」
スラスト荷重のチェック	実スラスト荷重 ≤ 許容スラスト荷重 ただし、実スラスト = ファンの推力 + ファンの自重	P9「許容スラスト荷重」
周囲温度のチェック	減速機近傍の周囲温度の標準範囲 0~40℃	—
高速軸回転数のチェック	高速軸回転数の標準範囲 450~1800r/min	—

- 注) 1. 低速軸の許容スラスト荷重は、スラスト荷重が下向きでかつ低速軸の回転方向が軸端から見て右回転の場合です。
 2. 低速軸許容スラスト荷重は、低速軸軸受の寿命時間を10万時間とした場合です。10万時間以外の場合には、お問い合わせください。
 3. 周囲温度が0℃未満または+40℃を超える場合には、お問い合わせください。
 4. 高速軸回転数が450r/min未満または1800r/minを超える場合には、お問い合わせください。

● 選定例

ご要求仕様	選定
用途 : クーリングタワー	1. 減速比の決定 モータ回転数 ÷ ファン回転数 = 14
モータ動力 : 132kW × 1450r/min	2. サービスファクタ (SF) の決定 SF=2.0
ファン回転数 : 107 r/min	3. サイズの決定 伝達容量 (モータ定格) ≤ 定格伝達容量 (サービスファクタ2.0) 「定格伝達容量表」より形式 SFC065R2S 減速比14 132 < 161kW (定格伝達容量) OK
実スラスト荷重 : 14.7kN	4. スラスト荷重のチェック 低速軸許容スラスト荷重より 14.7kN < 28kN OK
回転方向 : 低速軸端から見て右回転	5. 周囲温度のチェック 減速機近傍の周囲温度 0~40℃ OK
周囲温度 : 0~40℃	6. 高速軸回転数範囲のチェック 1450r/min 一定速のため450~1800r/min 標準範囲内 ... OK
バックストップ要否 : 要	7. バックストップ付 以上より形式 SFC065R2S-RRFB-14 を選定

定格表

定格伝達容量表 サービスファクタ 2.0

単位: kW

公称 減速比	高速軸 回転数 r/min	低速軸 回転数 r/min	サイズ						
			045	050	055	060	065	070	075
6.3	正確な減速比		※	※	※	6.188	6.426	6.188	
	1750	280	※	※	※	※	※	※	
	1450	230	※	※	※	※	※	※	
	1160	185	※	※	※	191	227	260	
	970	155	※	※	※	155	195	225	
7.1	正確な減速比		7.320	※	※	7.210	6.927	6.933	
	1750	245	115	※	※	※	※	※	
	1450	205	99	※	※	※	※	※	
	1160	165	77	※	※	189	216	260	
	970	135	64	※	※	154	186	225	
8	正確な減速比		8.338	7.955	7.955	7.875	8.118	8.082	
	1750	220	115	135	167	※	※	※	
	1450	180	99	110	136	227	248	※	
	1160	145	77	90	112	188	205	286	
	970	120	64	75	91	152	177	231	
9	正確な減速比		8.889	8.938	8.938	9.176	8.750	9.056	8.597
	1750	195	105	135	167	223	※	※	※
	1450	160	91	110	136	180	235	287	324
	1160	130	70	90	112	150	195	230	264
	970	110	59	75	91	122	164	193	221
10	正確な減速比		10.125	10.125	10.125	9.995	10.028	10.125	10.007
	1750	175	95	138	171	211	256	※	※
	1450	145	79	117	144	176	218	285	※
	1160	115	64	93	115	140	179	229	280
	970	97	55	78	96	117	145	186	234
11.2	正確な減速比		11.624	11.375	11.375	11.647	10.809	11.345	11.229
	1750	155	78	115	142	171	235	284	※
	1450	130	65	96	119	143	204	230	304
	1160	105	52	78	96	115	164	192	252
	970	87	43	65	80	96	133	160	205
12.5	正確な減速比		13.240	12.462	12.462	12.469	12.756	12.797	12.536
	1750	140	75	112	138	161	202	257	340
	1450	115	61	93	115	135	163	208	291
	1160	93	49	76	94	105	135	167	234
	970	78	41	62	77	90	113	139	201
14	正確な減速比		※		14.000	14.529	13.750	14.338	14.067
	1750	125	※		116	138	193	233	301
	1450	105	※		97	115	161	201	252
	1160	83	※		78	95	125	162	202
	970	69	※		66	77	105	131	164
16	正確な減速比		※		15.188	15.392	15.889	15.750	15.844
	1750	110	※		113	131	151	188	257
	1450	91	※		94	106	122	151	208
	1160	73	※		75	85	97	122	167
	970	61	※		61	71	82	101	139
18	正確な減速比		※		17.062	17.936	17.500	17.647	17.779
	1750	97	※		96	112	133	185	232
	1450	81	※		80	94	111	150	201
	1160	64	※		65	75	89	120	156
	970	54	※		55	63	77	101	131

注) 1. 上表に高速軸回転数がない場合には、補間法により求めてください。

2. 高速軸回転数Nが、970r/min未満の場合の定格伝達容量PNは、次の式によって求めてください。 $P_N = P_{970} \times \frac{N}{970}$

3. 高速軸回転数が1800r/minを超える場合は、お問い合わせください。

4. ※印の箇所については、お問い合わせください。

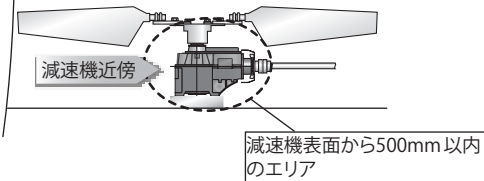
アプリケーションデータシート

SFCシリーズの機種選定にあたり、以下の事項をご指示ください。

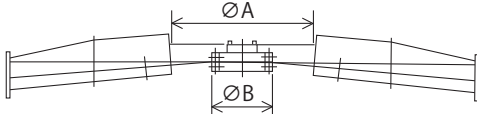
1. 負荷条件

	No.	項目	ご要求の仕様			
モータ	1	モータの種類 (一定速、ボールチェンジ、インバータ)				
	2	モータ動力	kW		r/min	
	3	起動時最大動力	kW			
	4	実動力	kW			
	5	高速軸回転数 (Min・Max)	Min	r/min	Max	r/min
低速軸	6	低速軸回転数 (Min・Max)	Min	r/min	Max	r/min
	7	スラスト荷重 (ファン反力+ファン質量)	kN			
	8	低速軸回転方向 (軸端から見て)				
	9	瞬間最大トルク (対モータ定格比)	kNm			

2. 設置環境条件

	No.	項目	ご要求の仕様														
温度	10	減速機近傍の周囲温度 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試運転時</td> <td>degC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起動時</td> <td>degC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転中</td> <td></td> <td>degC</td> </tr> </tbody> </table>		最小	最大	試運転時	degC		起動時	degC		運転中		degC	お客様からの特記事項:	
		最小	最大														
	試運転時	degC															
起動時	degC																
運転中		degC															
11	塔外温度	degC															
12	クーリングタワーの冷却水温度	degC															
使用環境	13	ご使用頂く地域 (国、地方等)															
	14	設置場所 (海岸、郊外)															
	15	腐食性ガス(硫化水素ガス等)の有無	有り(ガスの種類:)、無し														

3. クーリングタワーの構造

	No.	項目	ご要求の仕様					
ファンブレード	16	ファンブレードの固定方法 (リジッド、フレキシブルタイプ)						
	17	ディスク径 	<table border="1"> <tr> <td>∅ A</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>∅ B</td> <td>mm</td> </tr> </table>	∅ A	mm	∅ B	mm	(減速機に対し、直射日光の遮断が期待できない場合は、詳細な検討が必要となります。)
∅ A	mm							
∅ B	mm							
構造	18	クーリングタワーの構造と減速機の基礎の材質 (コンクリート、鋼板、木、FRP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷却塔の構造: ・ 減速機の基礎: 					
	19	減速機の直下の冷却塔支柱の有無						

4. 冷却塔が設置される工場の種類

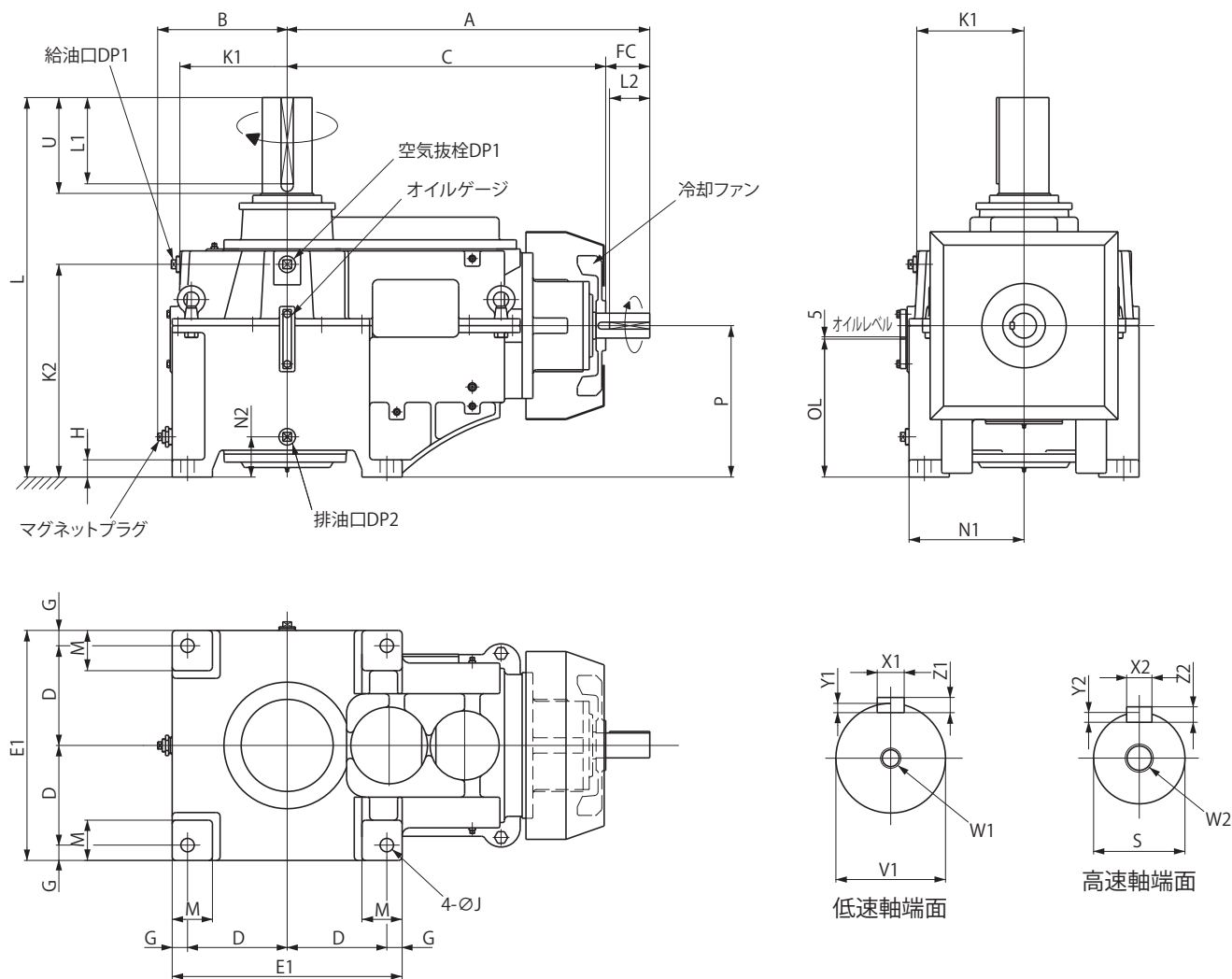
	No.	項目	ご要求の仕様	
工場の種類	20	(例) <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電 (地熱、天然ガス等) ・ 鉄鋼 ・ 化学 ・ 精油 ・ その他 (セメント、製薬等) 		

注) 太枠線内の項目は必ずご記入願います。

低速軸許容スラスト荷重

単位:kN

低速軸回転数 (r/min)	サイズ						
	045	050	055	060	065	070	075
≤300	16	25	25	22	28	29	50
≤150	18	27	27	27	28	31	50
≤100	21	29	29	30	34	39	50



単位:mm

サイズ	A	B	C	D	E1	G	H	J(据付ボルト)	L	P	M	質量 (kg)	油量 (Liters)	OL
045	725	260	645	200	470	35	38	28 (M24)	725	290	95	365	24	260
050	794	290	714	225	530	40	40	35 (M30)	795	320	105	435	34	290
055	794	290	714	225	530	40	40	35 (M30)	795	320	105	435	34	290
060	865	305	750	240	560	40	45	35 (M30)	900	370	105	660	55	335
065	946	325	831	260	600	40	45	35 (M30)	990	395	105	830	75	360
070	965	350	850	275	650	50	52	42 (M36)	1010	415	135	960	90	375
075	1018	370	903	295	690	50	52	42 (M36)	1045	450	135	1250	110	410

サイズ	低速軸							高速軸						配管ネジ						
	V1	U1	L1	X1	Y1	Z1	W1/深さ	S	FC	L2	X2	Y2	Z2	W2/深さ	DP1	K1	K2	DP2	N1	N2
045	100m6	210	190	28	10	16	M24/50	45k6	80	80	14	5.5	9	M16/36	R1	190	393	R1 1/4	235	80
050	110m6	210	190	28	10	16	M24/50	50k6	80	80	14	5.5	9	M16/36	R1	210	445	R1 1/4	265	100
055	110m6	210	190	28	10	16	M24/50	50k6	80	80	14	5.5	9	M16/36	R1	210	445	R1 1/4	265	100
060	120m6	210	185	32	11	18	M24/50	60m6	115	105	18	7	11	M20/42	R1 1/4	260	505	R1 1/4	280	105
065	130m6	250	225	32	11	18	M24/50	65m6	115	105	18	7	11	M20/42	R1 1/4	280	555	R1 1/4	300	105
070	140m6	250	225	36	12	20	M30/60	65m6	115	105	18	7	11	M20/42	R1 1/4	290	575	R1 1/4	325	105
075	150m6	250	225	36	12	20	M30/60	65m6	115	105	18	7	11	M20/42	R1 1/4	310	610	R1 1/4	345	105

注) 1. 高速軸、低速軸とも キー及び キー溝は、JIS B 1301-1996 (ISO)「キー及び キー溝 平行 キー(締込み形)」に準拠しています。

2. 油量は、概略値です。給油の際は、オイルゲージのレベル範囲内になるよう給油してください。

3. 空気抜きやエアブリーザは、お客様にて ファンスタックの外側へ配管し取り付けください。

配管部品は付属していません。お客様で準備願います。

4. 減速機の据付ボルトは、JIS強度区分8.8相当品を使用してください。

5. 芯ずれ防止のため、回り止めプレートまたはロックピン施工を推奨します。

保証基準

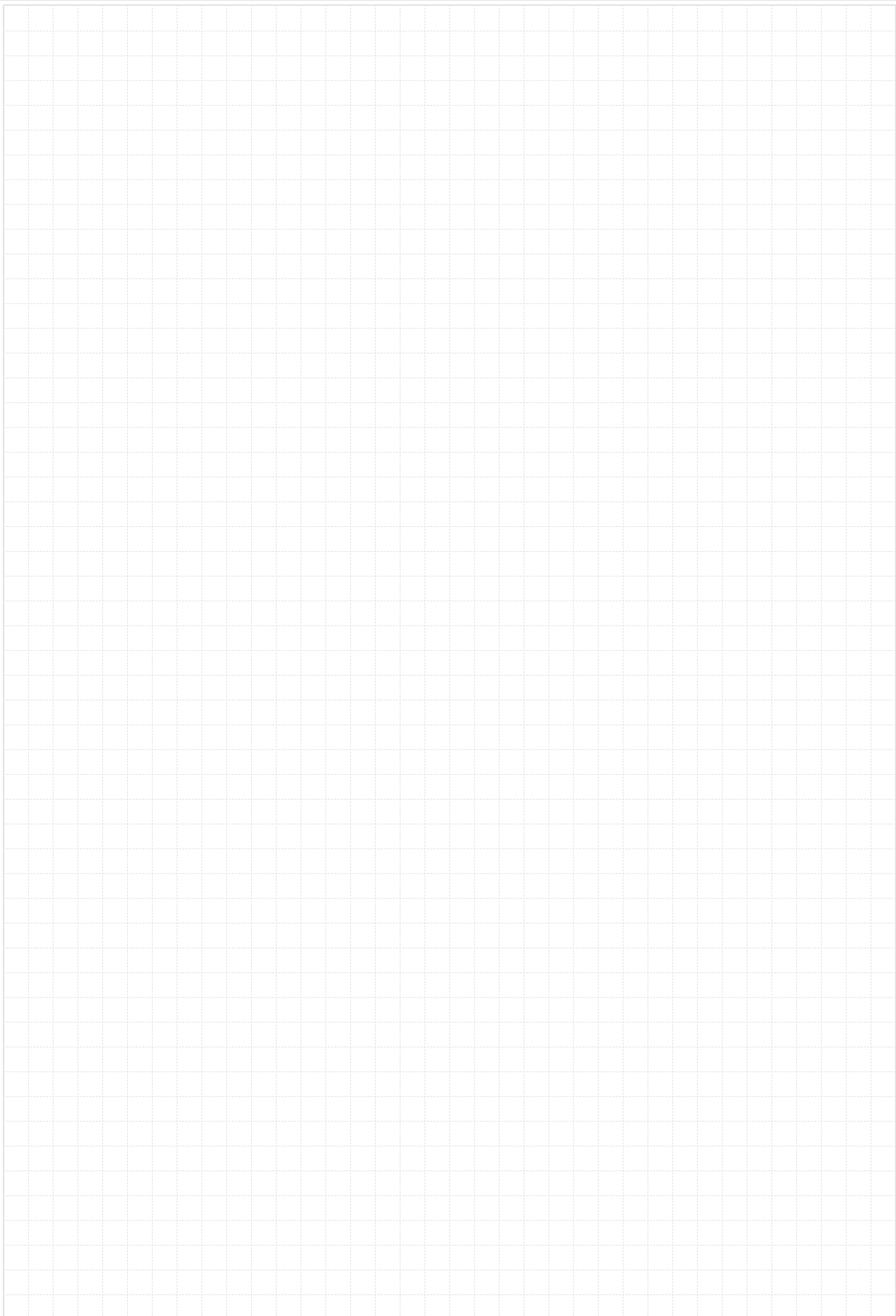
保証期間	新品に限り、工場出荷後18ヶ月または稼動後12ヶ月のうちいずれか短い方をもって保証期間と致します。
保証内容	保証期間内において、取扱説明書に準拠する適切な据付、連結ならびに保守管理が行われ、かつ、カタログに記載された仕様もしくは別途合意された条件下で正しい運転が行われたにも拘わらず、本製品が故障した場合は、下記保証適用除外の場合を除き無償で当社の判断において修理または代品を提供致します。ただし、本製品がお客様の他の装置等と連結している場合において、当該装置等からの取り外し、当該装置等への取り付け、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については当社の補償外とさせていただきます。
保証適用除外	下記項目については、保証適用除外とさせていただきます。 1. 本製品の据付、他の装置等との連結の不具合に起因する故障 2. 本製品の保管が当社の定める保管要領書に定める要領によって実施されていないなど、保守管理が不十分であり、正しい取扱いが行われていないことが原因による故障 3. 仕様を外れる運転その他当社の知り得ない運転条件、使用状態に起因する故障または当社推奨以外の潤滑油を使用したことによる故障 4. お客様の連結された装置等の不具合または特殊使用に起因する故障 5. 本製品に改造や構造変更を施したことに起因する故障 6. お客様の支給受け部品もしくはご指定部品の不具合により生じた故障 7. 地震、火災、水害、塩害、ガス害、落雷、その他の不可抗力が原因による故障 8. 正常なご使用方法でも、軸受、オイルシール等の消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合の当該消耗部品に関する保証 9. 前各号の他当社の責めに帰すことのできない事由による故障

減速機をお使いになるお客様へ

⚠ 安全に関するご注意

- 設置される場所、使用される装置に必要な安全規則を遵守してください。
(労働安全衛生規則、電気設備技術基準、内線規定、工場防爆指針、建築基準法 など)
- ご使用の前には取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
取扱説明書がお手元にはないときは、お求めの販売店もしくは営業所へご請求ください。
取扱説明書は必ず実際にお使いになるお客様のお手元まで届くようにしてください。
- 使用環境及び用途に適した商品をお選びください。
- 人員輸送装置や昇降装置など、商品の故障により人命または設備の重大な損失が予測される装置に使用される場合は、装置側に安全のための保護装置を設けてください。
- 爆発性雰囲気中では、防爆形モータを使用してください。また、防爆形モータは危険場所に適合した仕様のモータを使用してください。
- 食品機械、クリーンルーム用など、特に油気を嫌う装置では、故障・寿命等での万一の油漏れ、グリース漏れに備えて、油受けなどの損害防止装置を取り付けてください。

注) 本カタログに掲載の仕様・寸法図・表内の数値などは、予告なく変更する場合があります。設計をされる前には、念のためお問い合わせください。



M E M O

A large rectangular area filled with a grid of small, light gray dotted lines, intended for writing a memo. The grid covers most of the page below the header.

A large grid of small squares, typical of a memo pad, covering the majority of the page. The grid is composed of small, uniform squares that allow for organized note-taking.

営業所(住友重機械ギヤボックス株式会社)		http://www.shigearbox.com	TEL	FAX
東日本	〒141-6025	東京都品川区大崎 2-1-1 (ThinkPark Tower)	03-6737-2650	03-6866-5178
西日本	〒530-0005	大阪市北区中之島 2-3-33 (大阪三井物産ビル)	06-7635-3660	06-7711-5121
広島	〒732-0827	広島市南区稲荷町 4-1 (広島稲荷町 NK ビル)	082-568-0101	082-262-3767
四国	〒792-0003	愛媛県新居浜市新田町 3-4-23 (SES ビル)	0897-32-6423	0897-32-6430

営業所(住友重機械精機販売株式会社)			TEL	FAX
北海道	〒007-0847	札幌市東区北 47 条東 16-1-38	011-781-9802	011-781-9807
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町 3-3-16 (オー・エックス芭蕉の辻ビル)	022-264-1242	022-224-7651
茨城	〒310-0803	水戸市城南 2-1-20 (井門水戸ビル)	029-306-7608	029-306-7618
北関東	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町 4-242 (鐘塚ビル)	048-650-4700	048-650-4615
千葉	〒260-0045	千葉市中央区弁天 1-15-1 (細川ビル)	043-206-7730	043-206-7731
東京	〒141-6025	東京都品川区大崎 2-1-1 (ThinkPark Tower)	03-6737-2520	03-6866-5171
横浜	〒220-0005	横浜市西区南幸 2-19-4 (南幸折目ビル)	045-290-6893	045-290-6885
長野	〒380-0936	長野市岡田町 166 (森ビル)	026-226-9050	026-226-9045
富山	〒939-8071	富山市上袋 327-1	076-491-5660	076-491-5604
金沢	〒920-0919	金沢市南町 4-55 (WAKITA 金沢ビル)	076-261-3551	076-261-3561
静岡	〒422-8063	静岡市駿河区馬淵 3-2-25 (T.K BLD)	054-654-3123	054-654-3124
中部	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-18-24 (いちご伏見ビル)	052-218-2980	052-218-2981
四日市	〒510-0064	三重県四日市市新正 4-17-20	059-353-7467	059-354-1320
滋賀	〒529-1601	滋賀県蒲生郡日野町大字松尾 334	0748-53-8900	0748-53-3510
京都	〒604-8187	京都市中京区御池通東洞院西入ル笹屋町 435 (京都御池第一生命ビル)	075-231-2515	075-231-2615
大阪	〒530-0005	大阪市北区中之島 2-3-33 (大阪三井物産ビル)	06-7635-3663	06-7711-5119
神戸	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町 1-3-3 (神戸ハーバーランドセンタービル)	078-366-6610	078-366-6625
岡山	〒701-0113	岡山県倉敷市栗坂 854-10	086-463-5678	086-463-5608
広島	〒732-0827	広島市南区稲荷町 4-1 (広島稲荷町 NK ビル)	082-568-2521	082-262-5544
四国	〒792-0003	愛媛県新居浜市新田町 3-4-23 (SES ビル)	0897-32-7137	0897-34-1303
北九州	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野 2-14-1 (KMM ビル)	093-531-7760	093-531-7778
福岡	〒812-0025	福岡市博多区店屋町 8-30 (博多フコク生命ビル)	092-283-3277	092-283-3177

修理・メンテナンスのお問い合わせ

サービステクニカルセンター(住友重機械精機販売株式会社)

全国共通	〒474-0023	愛知県大府市大東町 2-97-1	TEL	FAX
			0562-45-6402	0562-44-1998

サービスセンター(住友重機械精機販売株式会社)

			TEL	FAX
北海道	〒007-0847	札幌市東区北 47 条東 16-1-38	011-781-9803	011-781-9807
東京	〒335-0031	埼玉県戸田市美女木 5-9-13	048-449-4766	048-449-4786
北陸	〒939-8071	富山市上袋 327-1	076-491-5660	076-491-5604
大阪	〒567-0865	大阪府茨木市横江 2-1-20	072-637-3901	072-637-5774
岡山	〒701-0113	岡山県倉敷市栗坂 854-10	086-464-3681	086-464-3682
福岡	〒812-0893	福岡市博多区那珂 3-16-30	092-431-2678	092-431-2694

技術的なお問い合わせ

お客様相談センター(住友重機械工業株式会社 PTC 事業部) <https://www.shi.co.jp/ptc/>

フリーダイヤル	0120-42-3196	営業時間
携帯電話から	0570-03-3196	月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
FAX	03-6866-5160	(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

記載内容は、製品改良などの理由により予告なく変更することがあります。